

ブリッドが童夢とのコラボレーションで FIA 最新安全規定適合シートを開発



BRIDE HYPER FIA8862-2009 APPROVED



製品名: HYPER
発売: 2017年2月1日予定
予価: シート本体 120万円
ブラケット&レール 26万円

東京オートサロンで発表 競技車専用の最高峰モデル

LMP車両のモノコックと同等の荷重アストに耐え得るシート試験ができるのは全世界でイタリアに1カ所のみ、それがFIAの最新安全規格『FIA8862-2009』適合モデルだ。

OMPやサベルト、レカロ、スパルコなどに該当シートはあるが、日本では童夢の『DOMERS 16』(単座競技車両用)と『DOMERS 16R』(フリーなどの複数座競技車両対応)がそれに当たる。レーシングカー・コンストラクターである童夢のCFRP設計技術やフィッティング・ノウハウが

息つく同製品は、①シートとブラケットを合わせたのトータルでの軽さに優れ、②アジア人の体型に合う設計、③車体との一体感が得られるフォーミュラポジション、④腿から先のサポート性(より確実なペダル・オペレーションを可能にする)などが高く評価されている。

また、唯一、ベンチレーション機能を備え、首から大腿部の下までエア・チャンネルを設けた送風システムを導入(夏場の長いステイントでもレーシングスーツがびしょ濡れにはならない)。さらにRS16Rでは前後スライディングブラケットが選べるようになっている。

そんなRS16Rをベースに、ブリッドのシートパッド・ノウハウでつくるパディングを用いるなどしたコラボレーションシートが、ここに紹介する『HYPER』だ。同社の市販品としては初のドライバーボン製で、史上最強のレーシングモデルとなる。東京オートサロン2017で発表し(試座できるという噂)、FIA GT3規定のレース車両を持つエントラントなどに受注を募っていく。ちなみに、そういったハイエンドのレーシング・ノウハウは、近い将来、一般ユーザー向けのシート・ラインアップにも反映される予定。2017年のブリッドに注目だ。